

オンラインセミナー「ワイヤレス技術最新動向」開催

＜デジタル変革を進展させる新たなワイヤレス技術を紹介＞

東海総合通信局(局長 長塩 義樹(ながしお よしき))は、令和4年3月8日に東海情報通信懇談会及び東海地域デジタル化推進フォーラムとの共催により、オンラインセミナー「ワイヤレス技術最新動向」を開催し、自治体や企業など幅広い業種の参加者により225名が視聴しました。

○ 講演1 【IEEE802.11ahの最新動向】

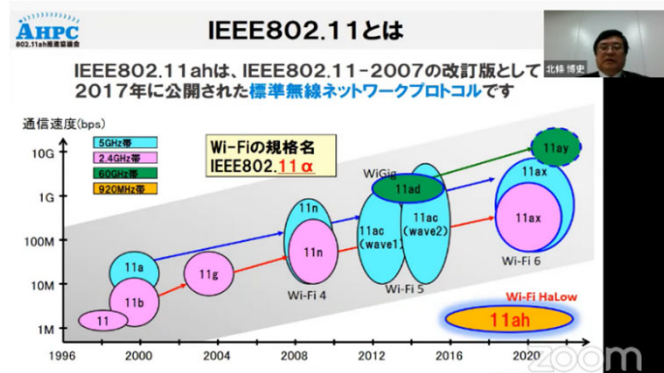
802.11ah推進協議会の運営委員 北條 博史*(ほうじょう ひろし)氏から講演いただきました。

このWi-Fiは、現在汎用的に使用されている2.4GHz、5GHz帯を使用する機器と比較すると、低い920MHz帯を使用するもので、特徴として、

- ・1kmを超える長い距離の通信が可能(2.4GHz、5GHz帯は屋内等)
- ・一般的な映像が伝送可能な通信(数Mbps)が可能 な、

新しいIoT向けのWi-Fi規格で、国内での制度化を間近に控えており、この特徴を活かして、新たな用途(遠隔地点のIPカメラ、個別SIMの契約が不要、温度等センシングに映像情報を追加)への可能性や対応機器の準備状況、ビジネス展開について紹介・解説をいただきました。

* 一般社団法人無線LANビジネス推進連絡会 代表理事会長、
NTTブロードバンドプラットフォーム株式会社 取締役、神奈川工科大学 客員教授



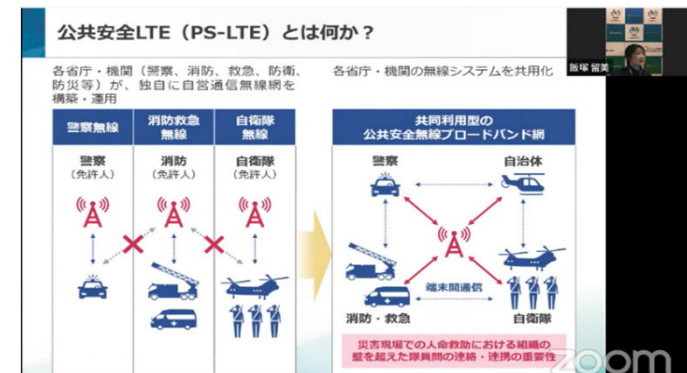
○ 講演2 【PS-LTEの海外最新動向】

一般財団法人マルチメディア振興センター シニア・リサーチディレクター 飯塚 留美(いづか るみ)氏から講演いただきました。

PS-LTEは、各組織が独自の無線通信ネットワークを構築していますが、通常は、他の組織との通信が行えないことから、横断的に情報連携できる通信システムとして日本でも実証実験が進みつつあるものです。

例えば、災害現場などで、消防、警察、救急、自衛隊等の複数の組織の通信による連携が図られ、2021年3月の神奈川県大震災対策合同訓練で活用されるなど今後の導入が期待されているものです。

先行する海外の動向やアプリ開発など、新たなビジネスチャンスの可能性を紹介・解説いただきました。



セミナー後のアンケートでは、「現状や最新動向、今後の取り組みなどととても参考になった」、「今後の人命危機への対応や公共の安全を守ることに貢献できる可能性を知り得た」など参加された皆様からご好評をいただきました。東海総合通信局では、今後も情報通信関連のセミナーを開催してまいります。【お問合せ先】:情報通信部情報通信連携推進課 052-971-9313